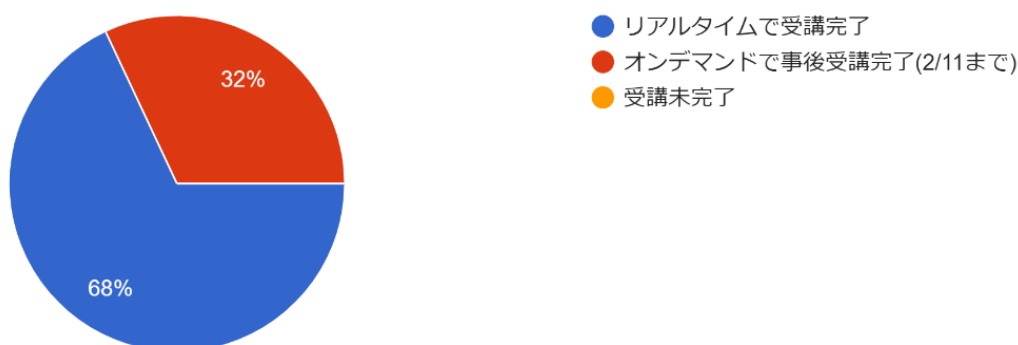


藤本蚕業歴史館で学ぶデジタルアーキビスト養成講座
実践講座2:地域資料のデジタルアーカイブ化講座
第1回(2023/02/04) 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの課題
受講報告(25名の回答)

▼受講形態



▼ご意見、ご質問等

- ◆DA構築の要件として、プログラムの差替えが可能、というのは具体的にどのようなことを指すのでしょうか？
- ◆本日はわかりやすく実践にも繋がる様々なお話をありがとうございました。端山貢明先生に師事したという方が身近にいるので、d-commonsの動画やPDFも興味深く拝見しました。
- ◆私は研究者や関連の仕事に携わっているものでなく、アーカイブというものへの興味のみ、何の知識もないまま参加させて貰いました。よって発表できるテーマや課題などは特にございませませんが、明日も楽しく受講させていただきたいと思います。
- ◆藤本蚕業所蔵資料の目録を作成された方から直接心構えや目録を作る過程をお聞き出来て参考になりました。歴史背景を知っているからこそ読み取れる価値がありますが、それを利用者が持っているかは別の話です。解説で説明するのが親切なのでしょうか。
- ◆最後のセッションで、受講生の方々の色々な事例を聞くことができ参考になりました。
- ◆前回に引き続き大変参考になりました。
- ◆本日はありがとうございました。大変勉強になりました。明日は出張移動中に受講予定のため、途中退出や受け答えが不可能なときがあります。受講できなかった箇所はオンデマンドを利用させていただこうと思っています。よろしく願いいたします。
- ◆第1回のときも感じたことですが、参加者のお話を聞いて、デジタルアーカイブへの関

心は、図書館関係者以外にも各人あるのだとわかりました。図書館と連携したり、相互リンクをはりたい、というようなこともできるかもしれませんね。

◆ご講義ありがとうございました。また皆さんのアーカイブ構築課題をお聴きしたことで、自身の関心や課題が明確になりつつあります。「みんなで作る DA 地域学習読本」目指して頑張ります。ありがとうございました。

◆未整理資料を紹介している時の音声聞き取りにくかったです。

◆丁寧なご指導ありがとうございました。前半の資料の扱い方や注意点、実際の目録作成方法もわかりやすく、学ぶところが多かったです。また参加者の方々のアーカイブ構築課題に共通項があるのが大きな発見でした。私自身は美術館のほか学校教育現場で働いており、その2つの視点から地域資料や地域産業(当地も昔は養蚕がさかんで現在は数少ない絵絹の産地です)のアーカイブ化と教育利用ができないかと漠然と考えています。また副読本についても、幸い各学校ごとにあっても紙の本ゆえに更新されていない、ひとり1冊の配布は予算的に難しいのが現状で、他の参加者の方と同様に課題が多いと捉えています。アーカイブ化して一般に公開できれば、新たな情報も寄せられ随時更新が可能になると考えています。

◆オンデマンドで受講させていただきました。市民参加型のデジタルアーカイブ、大学の史料編纂アーカイブ、個人の所蔵資料(公人だったため公文書も保存)を手掛けてきましたが、自身の業務の振り返りも含め、大変参考になりました。共通する課題があることも実感しました。質問もありますが、2/5の講座にて解消されるところもあろうかと思しますので、第2日を受講したのちに、改めて質問させていただきます。ありがとうございました。

◆当館では「下諏訪町デジタルアルバム」をネットで公開しています。昭和初期の古い写真などを公開し、所蔵者に許可を得た写真はダウンロードも可能になっています。下諏訪町をよりよく知ってもらおうということで、現代の写真も含めて公開しているのですが、写真のメタデータの入力に苦慮しています。調査中のものも多く、アップできない写真もあり、どこまでをメタデータとして入力すべきなのか、ご教授いただくと助かります。

◆アーカイブ化に伴う具体的なプロセスをお教えいただき参考になりました。